

報道各位

新潟市 下水道部

下水道管路の調査結果について

埼玉県八潮市の道路陥没事故に伴う、国土交通省からの実施要請を受け、内径 2メートル以上かつ整備後 30 年以上経過した下水道管路（約 34 km）を対象に「下水道管路の全国特別重点調査」を実施し、調査結果を取りまとめたので、その結果をお知らせします。¹

また、内径 2メートル以上かつ整備後 25 年以上経過した下水道管路（約 3.2 km）を対象に「本市独自の緊急点検」を実施し、空洞の可能性がある 2 箇所について開削調査を行いましたので、その結果をお知らせします。²

1 下水道管路の全国特別重点調査

(1) 調査結果

管内調査の結果、直ちに道路陥没に直結する管路内の大きな異状は認められませんでした。

また、路面下空洞調査で確認された空洞の可能性のある 2 箇所について開削調査を行いましたが、空洞は確認されませんでした。^{※A}

(別紙 1)

	全国特別重点調査の対象延長 [km]	管内調査の結果						空洞調査の結果	
		緊急度 I		緊急度 II		緊急度 I または II と判定されなかった延長 [km]	未判定 [km]	空洞調査	
		※1 [km]	要対策延長 ※3 [km]	※2 [km]	要対策延長 ※3 [km]			[km]	空洞箇所数 [箇所]
優先実施箇所 ^{※4}	0.818	0.145	0.145	0.620	0.186	0	0.054	0.818 ^{※5}	2 ^{※A}
優先実施箇所以外	33.399	3.316	0.625	12.842	1.097	11.793	5.448	9.590	0 ^{※B}
合計	34.217	3.461	0.770	13.462	1.283	11.793	5.502	10.408	2

※1 緊急度 I：原則 1 年以内に速やかな対策を実施

※2 緊急度 II：応急措置を実施した上で、5 年以内に対策を実施

※3 要対策延長：補修等の対策が必要と見込まれる延長

(浸入水等の要対策延長は、1 箇所あたり 1 m で計上)

※4 優先実施箇所：管路の腐食しやすい箇所などを含む優先的に実施すべき箇所（調査結果は、令和 7 年 9 月 17 日に公表済）

※5 優先実施箇所の空洞調査：未判定箇所についても実施済

(優先実施箇所の空洞調査 0.818 km (0.764km+0.054km))

(2) 今後の対応

緊急度Ⅰについては、令和8年度に速やかに補修等の対策を実施します。また、緊急度Ⅱについては、令和12年度までに補修等の対策を実施し、下水道管路の健全性を確保します。

なお、緊急度Ⅰ・Ⅱについて、管の周辺部に空洞が生じていないか路面下空洞調査を実施しており、7月までに完了予定です。引き続き、空洞の可能性がある箇所については、開削調査を行い空洞の有無を確認し、対策を行います。※B

2 本市独自の緊急点検

(1) 調査結果

路面下空洞調査の結果、空洞の可能性がある22箇所について開削調査を行いました。22箇所のうち9箇所で小規模な空洞を確認し、残りの13箇所では空洞は確認されませんでした。(別紙2)

(2) 対応状況

確認された空洞9箇所については、即日、埋め戻して路面復旧を実施しました。また、その他管内調査により確認された軽微な異状(管内への浸入水など)については、補修工事を実施しました。

(参考) これまでの経緯

令和7年1月28日	埼玉県八潮市で道路陥没事故発生
令和7年1月29日	国土交通省が下水道管路の緊急点検の事務連絡を発出 (本市は緊急点検の対象施設なし)
令和7年2月3日	本市が独自に下水道管路の緊急点検を開始
令和7年2月21日	国土交通省が「下水道等に起因する大規模な道路陥没事故を踏まえた対策検討委員会」を設置
令和7年3月18日	国土交通省が「下水道管路の全国特別重点調査」を要請
令和7年9月17日	国土交通省が「下水道管路の全国特別重点調査」について優先実施箇所の調査結果を公表
令和8年4月21日	国土交通省が「下水道管路の全国特別重点調査」について調査結果を公表

※お問い合わせについては、17時までにお願ひします。

問い合わせ先

新潟市下水道部下水道管理センター維持管理課

担当：西山・高橋

電話：025-281-9060 (直通)



- 凡例
- 緊急度 I
 - 緊急度 II
 - 緊急度 I・II 以外
 - 未判定

本市独自の緊急点検

